

たまねぎ

担当者 技能研究員 泉谷 雅俊

試験課題名	品種系統選定試験
目的	本町に適した多収・高品質・良食味品種を選定し、生産農家への普及に資する
期待される成果	地域適合複数品種栽培により生産向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所

1 供試品種・資材

品種

スーパー北もみじ イオマンテ カムイ ウルフ ひぐま
ノースレッド レッドアイ

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～たまねぎ

播種日～3月30日 定植日～5月16日 収穫日～9月5日

栽植密度～畦幅30cm×株間10cm 33,333株/10a

3 土壌診断結果と施肥量

(1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.5	0.041	51.4	43.1	50.1	137.9	5.8

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～40kg 堆肥～2,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～N S 2 6 2 (12 - 16 - 12) 5月10日 全層施肥

分肥～B B N K 2 0 (20 - 0 - 10) 8月1日 側条施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基肥	N S 2 6 2 100kg	12.0	16.0	12.0
分肥	B B N K 2 0 20kg	4.0	-	2.0
合計		16.0	16.0	14.0

4 調査項目

生育調査～播種日・発芽期・発芽率・定植時の苗質・定植日・倒伏開始

収量調査～総収量・規格別収量

5 生育調査

項目	品種	スーパー北もみじ	イオマンテ	カムイ	ウルフ	ひぐま	ノースレッド	レッドアイ
播種日		3月30日						
発芽期		4月6日	4月6日	4月5日	4月6日	4月6日	4月6日	4月5日
発芽率(%)		87.6	90.6	95.0	92.5	94.0	91.3	91.2
定植時の苗質	生葉数	3.4	4.2	4.5	4.9	4.3	4.0	3.9
	葉長	15.6	15.8	15.4	15.6	16.0	15.7	15.8
定植日		5月16日						
倒伏開始		8月28日	8月28日	8月28日	8月28日	8月29日	8月29日	8月28日

6 収量調査

項目	品種	スーパー北もみじ	イオマンテ	カムイ	ウルフ	ひぐま	ノースレッド	レッドアイ
総収量(kg/10a)		5,828	3,876	5,556	4,682	4,535	2,518	3,939
規格別割合(%)	2L	2.3	0	2.6	0	0	0	0
	L大	23.7	5.7	14.5	15.3	8.6	4.2	5.8
	L	52.6	39.5	55.7	35.6	28.5	15.5	32.5
	M	16.7	32.5	24.2	39.8	47.7	42.3	41.5
	S	4.7	22.3	3.0	9.3	15.2	38.0	20.2

※規格 1球重 150～300g 2L 9.0cm以上 L大 8.0～9.0cm未満 L 7.0～8.0cm未満 M 6.0～7.0cm未満 S 5.0～6.0cm未満

7 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
5月16日	VC乳剤	1,000倍	7月11日	ダコニールエース	750倍
7月11日	エルサン乳剤	1,000倍	7月25日	ダコニールエース	750倍
7月25日	エルサン乳剤	1,000倍	8月1日	フロンサイド水和剤	1,000倍
8月1日	スミチオン乳剤	1,000倍			

8 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 育苗は3月30日ハウス内に直播した。発芽は4月5日にカムイ・レッドアイで、スーパー北もみじ・イオマンテ・ウルフ・ひぐま・ノースレッドが4月6日となった。発芽率はスーパー北もみじが87.6%で、他品種は90%という結果となった。
- ② 定植は5月16日に全品種実施した。倒伏開始日は8月28日にスーパー北もみじ・イオマンテ・カムイ・ウルフ・レッドアイが始まり、1日遅れてひぐま・ノースレッドとなった。

(2) 収量調査結果

9月5日に全品種の収穫調査を実施した。10a当たり収量ではスーパー北もみじの5,828kgに対して、カムイが5,556kg、ウルフが4,682kg、ひぐまが4,535kg、レッドアイが3,939kg、イオマンテが3,876kg、ノースレッドが2,518kgという結果となった。

(3) 考察

初期生育が干ばつの影響で遅れ、十分な回復もなく収穫を迎えた。規格別割合で見るとL以上の規格で7品種の平均は49%で小玉傾向となった。

比較的収量の高かったスーパー北もみじのL以上の規格別割合は、78.6%、カムイが72.8%であり、他の品種は全体的にM規格が多い結果となった。